



TITLE:

京大広報 No. 365

AUTHOR(S):

京都大学広報委員会

CITATION:

京都大学広報委員会. 京大広報 No. 365. 京大広報 1989, 365: 589-594

ISSUE DATE:

1989-02-15

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/209314>

RIGHT:

ファイル中には未許諾による非表示部あり.

京大広報

No. 365

京都大学広報委員会



第26回全国大学保健管理研究集会で挨拶をする西島総長

(昭和63年10月25日京都会館第1ホール)

—関連記事本文 592 ページ—

目 次

部局長の交替等.....	590
平成元年度入学者選抜学力試験 （第2次学力検査）の期日等及び志願状況	590
平成元年度医療技術短期大学部 入学志願者状況.....	592

＜紹介＞	
保健管理センター及び保健診療所.....	592
討 報.....	593
日 誌.....	593
＜随想＞	
私の昭和	
名誉教授 岡野 正彌.....	594

＜大学の動き＞

部 局 長 の 交 替 等

数理解析研究所長

佐藤幹夫数理解析研究所教授（非線型問題研究

部門担当）が1月31日数理解析研究所長に再任さ

れた。任期は平成3年1月30日までである。

平成元年度入学者選抜学力試験
（第2次学力検査）の期日等及び志願状況

平成元年度入学試験（第2次学力検査）を、次の予定で実施する。

1. 第2次学力検査の期日等

○ 前期日程試験

月 日	教 科	学 部	時 間
2月28日 (火)	国 語	文・教育・経「一般」	午前9時30分～11時30分
		理・医・農	午前9時30分～11時
	数 学	文・教育・経「一般」	午後1時～3時
		理・医・薬・工・農	午後1時～3時30分
	論 文	経「論文」	午前9時30分～12時30分
			午後2時～4時30分
3月1日 (水)	外 国 語	文・教育・経「一般」・理・医・薬・工・農	午前9時30分～11時30分
	社 会	文・経「一般」	午後1時～2時30分
	理 科	理・医・薬・工・農	午後1時～3時30分
	論 文	経「論文」	午前9時30分～12時
		教 育	午後1時～3時

○ B日程試験

月 日	教 科	学 部	時 間
3月5日 (日)	国 語	法	午前9時30分～11時30分
	外 国 語	法	午後1時～3時
3月6日 (月)	論 文	法	午前9時30分～11時30分

○ 後期日程試験

月 日	教 科	学 部	時 間
3月16日 (木)	国 語	文・教育・経	午前9時30分～11時30分
		医	午前9時30分～11時
	数 学	教 育 ・ 経	午後1時～3時
		理・医・薬・工・農	午後1時～3時30分
	論 文	文	午後1時～3時
3月17日 (金)	外 国 語	文・教育・経・医・薬・工・農	午前9時30分～11時30分
	理 科	理・医・薬・工・農	午後1時～3時30分

2. 志願票の受付

志願票の受付は、1月30日（月）から2月8日（水）及び特別措置として2月10日（金）までの間に、各学部で行われた。

学部別の入学志願者数は、次表のとおりである。

学 部		募 集 人 員	志 願 者 数	倍 率	(参考) 63 年 度	
					志 願 者 数	倍 率
文 学 部	前 期	190 人	849 人	4.5	1,186 人	5.4
	後 期	30	327	10.9		
教 育 学 部	前 期	40	204	5.1	248	4.1
	後 期	20	161	8.1		
法 学 部	B	400	1,830	4.6	983	2.5
経 済 学 部	前期（一 般）	140	507	3.6	1,225	5.1
	〃（論 文）	60	592	9.9		
	後 期	40	310	7.8		
理 学 部	前 期	276	1,533	5.6	2,150	7.0
	後 期	30	1,326	44.2		
医 学 部	前 期	110	682	6.2	531	4.4
	後 期	10	179	17.9		
薬 学 部	前 期	50	189	3.8	283	3.5
	後 期	30	170	5.7		
工 学 部	前 期	617	2,605	4.2	3,778	3.7
	後 期	413	2,044	4.9		
農 学 部	前 期	260	1,010	3.9	1,438	4.4
	後 期	65	513	7.9		
計	前 期	1,743	8,171	4.7		
	後 期	638	5,030	7.9		
	B	400	1,830	4.6		
合 計		2,781	15,031	5.4	11,822	4.3

（注）法学部と経済学部（後期日程）の募集人員には、外国学校出身者のための選考の募集人員20名以内と10名以内とを含む。また、両学部の志願者数には、同選考試験志願者53名と41名とを含む。

平成元年度医療技術短期大学部 入学志願者状況

平成元年度医療技術短期大学部入学試験は、3月5日（日）と6日（月）の両日に実施されるが、入学願書の受付が2月1日（水）から8日（水）まで行われた。

学科別の入学志願者数は、次表のとおりである。

学 科	募集人員	志願者数	倍 率
看 護 学 科	80人	246人	3.1
衛 生 技 術 学 科	40	270	6.8
理 学 療 法 学 科	20	144	7.2
作 業 療 法 学 科	20	93	4.7
計	160	753	4.7

（医療技術短期大学部）

< 紹 介 >

保健管理センター及び保健診療所

沿革概況

京都大学における健康保持、増進への取組みは国立の教育機関としての大学における健康管理に対する歴代総長の熱意と全学教職員の支援により他大学に類をみないものとなり、京都大学の誇りとするところであって、既に京都大学七十年史、京大広報 No. 163、1987年版「京都大学」にも詳細に記されている。

すなわちその誕生は八十年前の明治41年（1908）9月に当時の学生寄宿舎の一室に医員室と病室からなる学生の健康管理のための健康相談と診療業務を目的とした学内診療施設に遡る。大正13年（1924）に現在の保健診療所の前身である学生健康相談所が開設された。いまだに「学健」の愛称が残っていることも多くの利用者に親しまれた名残りであろう。当時の診療科の内科、皮膚科、外科に加えて昭和5年（1930）歯科、同10年（1935）耳鼻咽喉科、同13年（1938）眼科を増設し、同17年（1942）にはX線間接撮影装置を設置した。同21年（1946）に教職員厚生会医療部を開設し、教職員とその家族にも業務を拡げることになった。同24年（1949）、学生健康相談所を京都大学保健診療所と改称し、学生・職員全員の保健管理と診療を行う施設とし、所属も学生部厚生課から事務局に変更された。同25年（1950）宇治分所を開設、同36年（1961）検査室、同39年（1964）精神・神経科を増設した。同46年（1971）に非常勤医によるものではあるが整形外科を新設した。

昭和41年（1966）に保健管理センターが新設さ

れたことに伴い、組織的には保健管理業務はセンターが担当し、診療業務は診療所が担当することになったが、両者の専門医による日常の診療業務から保健管理に必要な情報がセンターに提供され、充実した保健管理業務が実施されている。一方、学生に対するカウンセリングは学生部の学生懇話会で臨床心理学専攻教官が担当している。

年間業務概要

前回、京大広報 No. 163、1978年に紹介された当時の業務と昨年1987年度の業務概要を表に示した。

保健管理、診療関係合計14項目中、人数、件数の増加したもの8項目、減少したもの4項目、略同数のもの2項目である。就中、学生、職員共に放射線、微生物、化学薬品等にかかわる実験・取扱者に対する特別定期健診と学生に対するカウンセリング、精神衛生管理に関する健康相談の増加がめだっている。疾病治療を目的とした患者数が増加するならば保健管理上問題となるが、健康を確認する目的の相談件数が増加することは健康保持への関心が高いことであり、むしろ喜ばしいことではなかろうかと考えている。

他大学の保健管理とのかかわりあい

京都大学は学校保健の重要性を先見し、他大学と協議して昭和33年に国立大学保健管理協議会を設立し、同年8月には本学が当番校となり、第1回の国立大学保健管理協議会を開催した。昭和39年に国・公・私立大学及び短期大学を会員とする社団法人全国大学保健管理協会が文部省に認可され、さきの協議会は発展的に解消した。全国大学保健管理協会の会長は本学の総長である。本学構内に事務局が置かれており、事務局長には本学の事務局長が兼ねている。全国を7ブロックに分け

た参加校による各地方部会と文部省後援の全国研究集会において学校保健に関する研究成果の発表などの活動を行っている。

京都大学は昭和44年に第7回全国研究集会（主題「保健管理の効用」）、昭和49年に第12回研究集会（主題「これからの保健管理について」）を当

番校として担当した。昨年は第26回研究集会（主題「健康教育の推進」）を西島総長を運営委員長として担当した。参加校国立86大学、公立23大学、私立206大学、参加者数708名の規模であり、充分にその責を果たした。

年間業務比較表

		区 分	昭和53年度	昭和62年度
保 健 管 理 関 係	学 生	入学志願者書類審査	約 9,000枚	約 16,850枚
		在学生定期健康診断	約 15,500名	約 16,250名
		大学院、研究生等入学時健康診断（書類審査を含む）	約 2,400名	約 3,100名
		体育関係健康診断	約 650名	約 400名
		学生特別定期健康診断（RI、化学薬品等取扱者）	延約 900名	延約 2,600名
		就職用等健康診断	約 3,400名	約 3,100名
		精神衛生管理（保健診療所 神経科）	約 600件	約 2,400件
		カウンセリング（学生懇話室）	631件	2,703件
	職 員	定期健康診断（遠隔地施設を含む）	約 6,300名	約 5,800名
		特別定期健康診断（人事院規則）	延約 5,700名	延約12,500名
		採用時健康診断（研究員等を含む）	約 1,000名	約 1,350名
		人間ドック健康診断	約 1,100名	約 1,100名
診療 関係	学 生	受診者延数	16,202名	16,079名
	職 員	受診者延数	7,244名	4,933名

（保健管理センター・保健診療所）

計 報

小林 行雄（本学名誉教授 文学博士）
2月2日逝去、77歳。昭和7年神戸高等工業学校卒

業、49年京都大学文学部教授就任、50年退官。29年恩賜賞・日本学士院賞、59年勲三等瑞宝章。専門は日本考古学。

日 誌

（1989年1月1日～1月31日）

- | | |
|---|--|
| 1月4日 新年名刺交換会 | 24日 評議会 |
| 10日 在本邦フランス大使館科学部 Daniel Pardo
副参事官来学、総長と懇談 | 〃 大学院審議会 |
| 18日 放射性同位元素等管理委員会
〃 国際交流委員会 | 25日 ドイツ連邦共和国 Alexander von Humboldt
財団 H. Pfeiffer 事務総長来学、総長及び関係
教官と懇談 |
| 21日～22日 共通第一次学力試験 | 26日 学位授与式 |
| 23日 同和問題委員会
〃 大韓民国慶北大学校 千 時 權 総長ほか2
名来学、総長及び関係教官と懇談 | 〃 Stanford 日本センター T. Rohlen 所長来
学、総長及び関係教官と懇談 |

